

# 日本共産党市議会報告

## 12月定例議会

12月5日～22日までの18日間行われ、一般質問等で市長が次のことを明らかにしました。

- 小学校給食無償化、来年度以降も継続することを表明
- 県内初の夜間中学校の2025年度開校を目指す
- 国民健康保険の産前・産後4カ月(多胎は6カ月)の保険料を減額

### すべての案件が原案通り可決・同意される

日本共産党市会議員団は議案27件中24件と人事案件2件、議員発議1件に賛成。問題のある議案3件と議員発議1件については、問題点を指摘し、次の反対討論を行いました。

#### ◆自動運転の実証運行ではなく、困っている路線への取り組みを

5日間に1000万円かけて、けやき大通りを自動運転で実証運行する議案です。目的は路線バスの運転手不足と観光客の二次交通の確保ということですが、バス路線の廃止・縮小で困っている路線への取り組みこそが必要で

#### ◆和歌山城ホールの運営等は市が直接行うべき

和歌山城ホールの運営を公募により、株式会社ケイミックスパブリックビジネスに指定しようとする議案です。市民の声を直接聞き、改善につなげる等、公共施設の運営は市が責任を持つべきです。

#### ◆市議会議員の期末手当の増額は議会との議論を行うべき

和歌山市人事委員会の勧告に基づいて一般職員の期末手当及び勤勉手当の支給率の引き上げを考慮し、議員の期末手当の引き上げを行うための議案です。議員は一般職と異なり、市長など特別職と同様、政策的な判断が必要だと考えます。今回、議員についても引き上げをやめることができたと考えられ、議会との議論を通じ、判断するプロセスが必要であり、そのような手続きを踏まずに提案されていることに賛成できません。



和歌山城ホール正面玄関大階段前にて  
(左から森下、南畑、坂口議員)

### 和歌山発電所建設計画の見直しに係る決議案に反対

4会派の代表議員から提案された決議案の問題点を指摘し、反対討論を行いました。

西防波堤沖埋立地は住友金属製鉄所が公害発生源の沖出しによる住工分離が目的であったからこそ瀬戸内法をクリアできたもので、埋め立てを認めるかどうかという時から多くの議論があったところです。2000年の仮設備工事着手以来23年にわたり中断、放置されていた計画を中止して、2026年を目途に当該地の一部を企業誘致エリアとして先行整備することは、環境やライフラインの問題など不透明な点が多く、まずは市民への情報提供と議論が必要です。今、決議をあげることは時期尚早であり反対です。

### 2022年度決算

決算審査の目的は、1年間取り組んだ仕事を振り返り、事業が当初の計画通り進んだのか、予算が正しく執行されたのかなど、次年度に活かすところにあります。2022年度は新型コロナウイルスの感染拡大の波が繰り返されるなか、医療体制がひっ迫し、暮らしや雇用にも深刻な影響が出ました。何よりも市民のいのちと暮らしを守ることを最優先にという点から、

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い道
  - プレミアム商品券事業
  - 保育所や学童保育所(若竹学級)の待機児童解消への取り組み
  - 学校施設の老朽化対策
- など、市民の暮らし最優先に取り組んだとは考え難く18件中15件に反対しました。

### 可決された一般会計増額補正予算の概要

(総額58億5152万8千円)

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円の追加給付金(37億7150万円)

物価高騰等の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的としてプレミアム商品券の発行等業務委託料(5億8602万4千円)

永山川の河川改修工事請負費(3億9900万円)

河西橋架け替えにかかる地方道整備工事請負費(2億4200万円)

第8ブロック(吹上・砂山・今福・高松地区)の地域交流センター整備工事請負費(2億816万6千円)

# 一般質問

日本共産党は、3議員全員が質問しました。



さかぐち たみこ  
坂口多美子議員

## 官製婚活はやめるべき

和歌山市は、少子化対策として「お見合い応援プロジェクト」など結婚支援事業を行っています。自治体が希望出生率1.8を掲げ、政策として結婚支援することは、最初から子どもを産めない人や結婚しない人をはじき傷つけることとなります。子どもを産む、産まない、いつ何人産むかを女性が決めるのは基本的人権です。

**坂口:**少子化対策というのなら、不安定雇用や奨学金の返済、待機児童問題など、若い世代が結婚・出産・子育てをあきらめざるを得ない現状を解消することが先決ではないでしょうか。

**市長:**少子化対策については結婚・妊娠・出産子育てすべてのステージにおいて支援することが重要です。

## 地域医療体制の都合で

### 救急搬送する場合は公費負担で

救急搬送された方が治療の継続が必要にもかかわらず、他の医療機関に転院を強いられた時の搬送費は全額患者負担、あるいは医療機関負担となっています。「自分が移りたいと言ったわけではないのに約1万2千円の搬送費を求められ腑に落ちない」という相談がありました。当然だと思います。

**坂口:**転院搬送の費用は、患者都合でない限り公費負担にする必要があると思いますがどうですか。

**局長:**緊急性の乏しい転院搬送については、本来、消防機関が実施するものではありません。国のガイドラインから外れた場合は、病院救急車や消防機関が認定する民間の搬送車を利用することとなります。その時の公費負担や費用助成は困難です。

## すべての小学校に

### 栄養職員の配置を

**森下:**栄養職員が常駐していない小学校が16校ありますが全校に配置すべきです。また、会計年度任用となっている栄養職員の規定時間を超えての業務については、現場の声を聞くとともに、正當に支給すべきです。

**市長:**学校給食において、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たしているものと認識していますが、市費負担で栄養職員を配置することは考えていません。

## 山東地域でスーパーが閉店 住民の不便解消を

山東地域は数か所のコンビニのみで、ATMも利用できなくなっています。日本共産党山東支部が行ったアンケートは、「スーパーが欲しい」「車を運転できなくなるときの不安」「移動販売の商品は割高」など、高齢化が進む中、一体どうなっていくのかと不安を抱える声がとても多い結果でした。

**森下:**住民の皆さんは、高齢化や人口減がすすむなか、日常の買い物にも不便を感じています。貴志川線の存続をはじめ、コミュニティバスの運行など、産業局、福祉局、都市計画局の3者が連携しながら取り組むことが必要です。

**市長:**高齢化が進み、スーパーの撤退、貴志川線の維持存続などの課題はありますが、四季の郷公園や伊太祁曾神社など地域資源を活用しながら、魅力ある地域づくりに取り組んでまいります。



もりした さちこ  
森下佐知子議員

## 待機児童解消問題を

### 最優先課題とすべき

**南畑:**今年4月末191人、8月末225人、12月初めで124人の待機児童がいます。待機児童解消の受け皿の範囲を広げるべきではないでしょうか。市長として子育て日本一を掲げているなら、待機児童解消問題を最優先課題にすべきです。

**教育局長:**教室等の有効活用をはじめ学校外へ移動した場合の安全性も考慮しながら最適な対応を検討していきます。

**市長:**本市のより良い未来に向け、誰もが安心して子どもを育てることができる環境を整え、子育て世帯の不安感を軽減する上で、若竹学級(学童保育)は無くてはならない事業であると認識しており、待機児童の解消は、早急に解決すべき課題だと考えています。

## 室温30℃

### プレハブ学童保育所の対策を

**南畑:**この夏の異常な暑さの中、コロナ禍であったことから、あるプレハブの学童保育所ではクーラーの設定

を19℃にしても、30℃まで上がり熱中症にならないか、保護者から早急な対策を求める声が届きました。空調設備の耐用年数のチェックや入れ替えをもっと早くすべきだったのではないのでしょうか。

**局長:**今年度、空調設備設置から10年が経過している設備を入れ替えましたが、50台の工事が必要で完了までに時間を要しました。



みなみばた さちよ  
南畑幸代議員

日本共産党市議会だより 2024年1月21日発行

日本共産党和歌山市議員団 Tel 073-435-1113

ホームページ

X(旧Twitter)

Fax 073-421-4181

インスタグラム

E-mail jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp

は、「日本共産党和歌山市議団」で検索又は、左のQRコードからごらんください。

